

# 5月末まで臨時休業延長

いつの間にか朝明中周辺ではすっかり田植えが終わっています。新緑の鮮やかさは例年通りなのに、世間の静けさのおかげで、小鳥のさえずりがいっそうにぎやかに聞こえます。学校では、せつかく増え始めた掲示物が4月15日以降止まった教室が、生徒のみなさんが来るのをひっそりと待っています。



ただ、天気の良い午後になると、数名の生徒が運動場で体を動かしている姿を見かけます。時には吹奏楽部の部員が楽器を演奏していることも。

新年度が始まって10日足らずで再び新型コロナウイルスによる感染拡大防止のための臨時休校に入り、さらに5月7日からの再開も見送られ、今月末までの休業延長が決まりました。生徒のみなさんはこの休み期間をどのように過ごしていますか？本来の長期休業であれば、大会や練習など、部活動の予定がいっぱいあったり、家族での旅行や親しい知人と出会う機会があったり、宿題以外にも自分たちの時間をどのように使うか、楽しい計画を立てているところです。しかし、今回の長期にわたる休業は、部活動もできず、外出を控え、思い切り羽を伸ばすことができない制約の中で過ごさなければなりません。



すでに配付されたものやこれから担任が届ける第2弾の宿題など、自主的に学習を進めていかなければならないものがたくさんあります。時間がたっぷりあるからと油断していると、与えられた課題

がなかなか進まないままに終わってしまうこともありますので、自分でしっかりと計画を立てて取り組みたいものです。もちろん、頭だけでなく体を動かすことも忘れずに。

そして何より、生活の乱れがウイルスにつけ込むスキを与えません。十分な睡眠、規則正しい生活習慣を守り、手洗いうがいなどの基本的な感染予防対策を忘れないように、自分自身の健康管理にはくれぐれも気をつけて過ごしましょう。



前回同様、少しでも人と人との交わる機会を減らすことが感染拡大防止のための最も効果的な策であるということで、今回の延長措置となりました。感染のリスクを減らすためにも、なるべく自宅待機して人との接触の機会を減らすことを心がけるよう、各ご家庭でもご指導をお願いします。

**また、自宅待機が長引く中で、子どもたちのストレスもたまっていることと思います。ご家庭内でのトラブルも含め、何かお困りごとがあれば、いつでも学校に連絡をしてください。**

引き続き、日常の感染予防にこころがけ、6月1日（月）に、みんなが元気で、学校が再開（学校で再会）できることを祈ります。

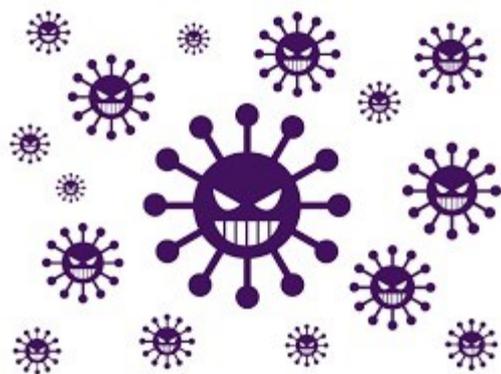
# 今だから考えたいこと

テレビでは4月から放送予定の新番組が次々と延期され、楽しみにしていた人気ドラマなどは「近日公開」とだけ放送され、放送日は告知されないまま、時間だけが過ぎていきます。番組の収録中断を余儀なくされているテレビ各局は、放送開始の延期や放送中断に踏み切り、その間の枠を再放送などで埋めています。どうやら、ドラマの収録も進んでおらず、この業界でも打ち切りや中止の決断に迫られることもあるようです。

生放送の報道番組でも出演者の距離がだんだんと離れて行き、今ではスタジオ外から個々がオンラインでの中継でつながっている場面も多くなってきました。

買い物に行けば、立ち位置も指定され、レジとの間はビニールやアクリル板で仕切られ、なんだか人と人の心までもが遮断されてしまうような気持ちにさせられます。

「日本赤十字社」は新型コロナウイルスの怖さは「3つの“感染症”」という顔があるということであると、その啓発資料で説明しています。



## 第1の感染症は「病気そのもの」

## 第2の感染症は「不安と恐れ」

## 第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」

「病気そのもの」を予防することはもちろんですが、「不安や恐れ」は人間の生き延びようとする本能を刺激することから、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりを壊してしまいます。

嫌悪の対象を偏見や差別で遠ざけることで得られる安心感は本当の敵を見えなくしてしまいます。差別や偏見は、特定の人、地域、職業などに対して「危険」「バイ菌」といったレッテルを貼る心理によって生まれます。ですから、この3つの感染症の負のスパイラルを断ち切らなければなりません。

第1の感染症を防ぐためには、「手洗い」「咳エチケット」「人ごみを避ける」などの行動を自分のためだけでなく周りの人のためにもすること。第2の感染症にふりまわされないために、「気づく力を高める」「聴く力を高める」「自分を支える力を高める」こと。第3の感染症を防ぐためには、「この事態に対応しているすべての方々にねぎらい、敬意を払う」ことが大切です。

不要不急の外出など行動に制限がかかり、日常生活に我慢を強いられることが多い中、こんな時だからこそ、自分たちの行動や、これからの振る舞いをよく考え、それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切れるようにしたいものです。一日でも早くかつての日常が戻ることを願って。

※ 引き続き急な連絡や予定変更は「すぐメール」の発信や学校のホームページに掲載しますので、ご覧になってください。